

授業科目	地域・在宅看護概論		
単位・時間数	1単位 15時間	開講時期	1学年 後期
1. 科目のねらい・目標			
1. 地域・在宅看護を取り巻く社会的背景を理解する。 2. 地域・在宅看護の対象者を理解し、在宅看護の機能と役割を理解する。 3. 地域で生活する療養者と家族の特徴、家族の支援の必要性について理解する。 4. 地域包括ケアシステムの概要、構成する職種との連携、看護職の役割を理解する。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 2 3	6	地域・在宅看護の概念	1. 地域・在宅看護の背景 2. 地域・在宅看護の基盤 3. 地域・在宅看護の機能と役割 4. 地域・在宅看護における倫理
4	2	地域・在宅看護の対象理解	1. 地域・在宅看護の対象者
5	2	在宅療養者と家族の支援	1. 在宅療養の成立要件 2. 在宅療養者の家族への看護
6 7	4	地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携	1. 地域包括ケアシステムと在宅ケア 2. 医療機関における入退院時の連携
8	1	認定試験	
3. 教科書	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版		
4. 参考書	国民衛生の動向 厚生労働統計協会		
5. 成績評価方法	レポート、筆記試験で総合的に評価します。		
6. 備考(学生へのメッセージ等)	個人ワーク、グループワークは積極的に取り組みましょう。		
7. 先輩学生からのメッセージ	地域・在宅看護がどのようなものを学ぶ授業です。積極的に取り組みましょう。		

授業科目	地域・在宅看護援助論Ⅰ（地域活動）		
単位・時間数	1単位 15時間	開講時期	1学年 後期
1. 科目のねらい・目標			
1. 鳥取県東部地域で生活する人々の暮らしを知り、支える機関や職種について理解する。 2. 地域住民支援の活動事例から健康で安全な生活に向けた支援を理解する。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 2 3 4	8	地域と生活、生活者の理解	1. 鳥取県東部地域で生活する人の暮らしについて調べる。 （人口動態、市町村にある病院・診療所・施設の数、世帯数、世帯割合、小中学校数の変遷、JR・バス・民間交通、市町村が行っている事業、災害対応など）
5 6	3	発表	
7 8	4	地域住民支援の活動事例	1. 地域住民支援の活動 2. 児童養護施設で生活するこどもの現状と支援
3. 教科書	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版		
4. 参考書	国民衛生の動向 厚生労働統計協会		
5. 成績評価方法	レポート、評価表で総合的に評価します。		
6. 備考(学生へのメッセージ等)	個人ワーク、グループワークは積極的に取り組みましょう。		

授業科目	地域・在宅看護援助論Ⅱ（社会資源の活用）		
単位・時間数	1単位 15時間	開講時期	2学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
<p>1. 地域療養を支える制度と社会資源を理解し、地域で生活する療養者に必要な支援について学ぶ。</p> <p>2. 訪問看護の目的、制度および看護師の役割を理解する。</p>			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ～ 4	8	在宅ケアを支える 制度と社会資源	<p>1. 社会資源、医療保険制度</p> <p>2. 介護保険制度のしくみとサービスの利用方法・サービスの内容</p> <p>3. 障害者手帳と障害者総合支援法</p> <p>4. 難病を支える社会資源</p> <p>5. 在宅療養者の権利を擁護する社会資源</p> <p>6. 生活環境と在宅療養者（住宅改修、福祉用具等）</p>
5 ～ 7		在宅療養を支える看護	<p>1. 訪問看護の概念・制度・看護職の役割・対象</p> <p>2. 訪問看護ステーションの設置形態・制度・サービス内容・流れ・利用料金（個人ワークの演習含む）</p> <p>3. 訪問看護ステーションでの活動</p> <p>4. 訪問看護における看護過程の考え方</p> <p>5. 訪問看護における安全について</p>
8		認定試験	
3. 教科書	<p>ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版</p> <p>ナーシング・グラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 メディカ出版</p>		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	レポート、筆記試験で評価します。		
6. 備考（学生へのメッセージ等）	地域療養を支える制度と社会資源を理解し、地域で生活する療養者に必要な支援について学びましょう。		

授業科目	地域・在宅看護援助論Ⅲ（在宅看護技術）		
単位・時間数	2単位 45時間	開講時期	2学年 全期
1. 科目のねらい・目標			
1. 訪問看護におけるマナーやコミュニケーションの取り方を理解する。 2. 在宅におけるフィジカルアセスメントの方法を理解する。 3. 在宅における生活支援の方法を理解する。 4. 在宅における状態別看護、医療管理を必要とする人への看護を理解する。 5. 終末期の療養者と家族への看取りを含む支援の方法を理解する。 6. 在宅における訪問看護活動を計画し実施できる。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 2	4	生活の場への訪問とその基本技術	1. 生活の場への訪問とそのプロセス 2. 在宅看護におけるフィジカルアセスメント 3. 在宅看護におけるリスクマネジメント 4. 在宅における感染対策
3 4	4		5. 訪問の基本技術 演習「訪問時のマナーの実際」（ロールプレイ）
5 12	16	在宅で療養している療養者と家族への支援（状態別看護、医療管理を必要とする人の看護）	1. PBLテュートリアル教育法 5事例について、疾患の理解、フィジカルアセスメント、日常生活援助、医療管理・処置、家族への指導を考え、発表する。
13	2	在宅における口腔ケア	1. 口腔の基礎知識・基礎的口腔ケア 2. 在宅における口腔ケア
14 15	2 2	安全・安楽（褥瘡予防・拘縮予防）	1. 在宅における移動技術の基本と福祉用具の活用 2. 在宅における褥瘡管理の実際
16 17	4	終末期の療養者と家族のケア	1. 死に向かう身体の変化、在宅ターミナルの条件 2. 終末期に必要な知識・技術と訪問看護師の役割
18 19 22	2 8	おむつの基礎知識 在宅における訪問看護の実際	1. おむつの基礎知識・おむつの当て方 1. 在宅療養事例に対する訪問計画立案 2. 訪問看護の実施（59分） 3. まとめ
23	1	単位認定試験	
3. 教科書	ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 メディカ出版		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	レポート、筆記試験で総合的に評価します。		
6. 備考(学生へのメッセージ等)	授業では、グループワークによる学習・発表の時間があります。主体的に臨みましょう。		

授業科目	地域・在宅看護援助論Ⅳ（看護過程）			
単位・時間数	1単位 15時間	開講時期	2学年 後期	
1. 科目のねらい・目標				
<p>1. 在宅で療養する人の看護過程の展開方法を習得する。</p> <p>1) 事例をもとに地域で生活する人々の健康上のニーズを把握するための基本的な情報収集内容がわかる。</p> <p>2) 事例の情報をもとに必要な看護上のニーズがアセスメントでき、援助計画が立案できる。</p> <p>3) 社会資源の活用と連携を関連図に表すことができる。</p>				
2. 授業計画・内容				
回	時間	項目	内容	
1	2	事例紹介	<p>1. 脳梗塞後遺症の療養者の事例紹介</p> <p>2. 情報収集の視点について（講義）</p> <p>3. 関連図の考え方（講義）</p>	
2 3	4	情報収集 アセスメント	<p>1. 4つの側面に沿って情報収集・アセスメント（個人ワーク）</p> <p><4つの側面></p> <p>1) 身体的側面</p> <p>2) 心理的側面</p> <p>3) 環境・生活の側面</p> <p>4) 家族・介護状況の側面</p>	
4 5	4	社会資源の関連図	<p>1. 社会資源の関連図のグループワーク</p> <p>2. アセスメントの結果で看護の方向性のグループワーク</p>	
6 7	2 2	まとめ	<p>3. 発表</p> <p>4. 関連図および看護の方向性のまとめ</p>	
8	1		<p>1. 看護過程の展開まとめ</p>	
3. 教科書	ナーシング・グラフィカ ナーシング・グラフィカ	在宅看護論① 在宅看護論②	地域療養を支えるケア 在宅療養を支える技術	メディカ出版 メディカ出版
4. 参考書				
5. 成績評価方法	評価表に基づいて評価します。			
6. 備考(学生へのメッセージ等)	個人学習とグループ学習・発表で進めます。 事例展開は臨地実習に活用しましょう。			